

全国学力・学習状況 調査結果

実施日	平成30年4月17日
調査学年	第6学年55名
調査内容	国語A・B 算数A・B 理科 児童質問

1 調査結果概要（国語）

国語A「主として知識」基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

	平均正答数	平均正答率
本校	8. 1 / 1 2	6 8. 0 %
東京都	8. 8 / 1 2	7 4. 0 %
全国	8. 5 / 1 2	7 0. 7 %

1 調査結果概要（国語）

正答率が高かった問題

「心を打たれる」

///意味

///使い方

日常生活で使われている慣用語の意味を理解している

村上さんが、駅で図書館への行き方をたずねられました。

2人の会話の説明を選択する。

相手や目的に応じて、筋道を立てて整理する力が発揮された。

正答率

92.7%

（都+1.1）

正答率

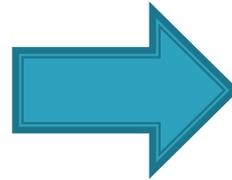
94.5%

（都+1.9P）

1 調査結果概要（国語）

正答率が低かった問題

- ①ぼくは、校庭で野球の練習をがんばりました。
- ②ぼくたちのチームは、地区大会で優勝したのです。
- ③今年の春休みは、とてもじゅう実したものとなりました。
- ④反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。



正答率

20.0%

（都－22.9P）

無回答率

12.7%

文の中にある主語と述語の呼応の関係が理解できていない。日常の文章指導において改善を図っていく。

1 調査結果概要（国語）

国語B「主として活用」基礎的・基本的な知識・技能を
活用することができるかどうかをみる問題

	平均正答数	平均正答率
本校	4. 2 / 8	53. 0%
東京都	4. 5 / 9	57. 0%
全国	4. 4 / 9	54. 7%

1 調査結果概要（国語）

正答率が高かった問題

話し合いにおける、役割の意義について理解していることがわかる。

話し合いの様子の一部を読み取り、司会の役割について捉えることができる。

90.9%
(都 + 10.3P)

話し合いを受けて、いずれかの意見を取り上げ、自分の考えを述べることができる。

36.4%
(都 + 1.4P)

正答率は、国も都も低い結果であった。その中で、話し手の意図を捉えて、自分の考えをのべることができた。

1 調査結果概要（国語）

正答率が低かった問題

おすすめの文章の最初の部分に書いた構成の効果を考えることができたか。

正答率が49.1%
(都 - 12.0P)

分かったことの情報から、その文章にふさわしい言葉や文を使って書くことができる。

正答率が7.3%
(都 - 7.1P)

目的や意図に応じ、文章全体の構成や工夫を捉え、内容の中心を明確にして書くことができる。

本校の実態と課題

基本的な言語事項等の知識・理解が身に付いてきている。目的や意図に応じて、題意を捉えることができている。

目的や意図に応じて、文章全体の構成を捉えたり、いくつかの条件に合わせて考えを述べることが課題。

指導改善のポイント

自分の立場を明確に説明したり、事実と感想、意見とを区別したり、結論付けを明確にしたりする場面を設定する。

文章の種類や特徴を踏まえた上で、文章全体の構成とその効果を考え、条件に合わせて書く活動を取り入れる。

2 調査結果概要（算数）

算数A「主として知識」基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

	平均正答数	平均正答率
本校	9.9 / 14	71.0%
東京都	9.4 / 14	67.0%
全国	8.9 / 14	63.5%

正答率が高かった問題

1 2 ÷ 0. 8 の式で求められる問題を選ぶ。

- ① 0. 8 Lで板を1 2 m²ぬることができるペンキ
1 Lで板を何m²ぬれるか。
- ④ 長さ1 2 mのリボンを0. 8 mずつ切ると何本で
きるか。

数直線を根拠にした演算決定の仕方が身に付いている。小数のわり算の意味を理解している。日常から文章題を読んで題意を捉える学習を展開している成果である。

正答率 5 8. 2 %（都 + 1 4. 7 P）

2 調査結果概要（算数）

正答率が高かった問題

200人のうち80人が小学生でした。小学生は何%か。

65.5%
(都 + 7.5P)

百分率の意味を理解し、計算を正しくできている。

2つの条件から当てはまる折れ線グラフを選ぶ。

69.1%
(都 + 2.0)

条件を読み取り、折れ線グラフの変化を読み取っている。

2 調査結果概要（算数）

正答率が低かった問題

円周率を求める式を選ぶ。

- 1 円周の長さ×半径の長さ
- 2 円周の長さ×直径の長さ
- 3 円周の長さ÷直径の長さ
- 4 直径の長さ÷円周の長さ

正答率

40.0%

（都平均

→ 5.7P）

直径×円周率＝円周の長さ
は理解しているが、円周率
を求めるように式の意味を
考えることに課題がある。

2 調査結果概要（算数）

算数B「主として活用」基礎的・基本的な知識・技能を
活用することができるかどうかをみる問題

	平均正答数	平均正答率
本校	5.4 / 10	54.0%
東京都	5.5 / 10	55.0%
全国	5.1 / 10	51.5%

2 調査結果概要（算数）

正答率が低かった問題

図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が360度になっていることを説明する。

正答率 32.7%
(都 - 18.8P)
無回答率 14.5%

メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、説明する。

正答率 16.4%
(都 - 8.7P)
無回答率 18.2%

どちらの問題も、与えられた情報を整理・分析して、言葉や数を使って説明することが課題である。思考したことを表現することの取り組みが必要。

本校の実態と課題

**少人数指導の成果が発揮され、
基礎的・基本的な知識・技能
が身に付いてきている。**

**問題の解決方法やその意味を数
字や式を使って説明することが
課題である。**

3 調査結果概要（理科）

理科 基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題。基本的な知識・技能を活用することができるかどうかみる問題。

	平均正答数	平均正答率
本校	9.3 / 16	58.0%
東京都	9.9 / 16	62.0%
全国	9.6 / 16	60.3%

3 調査結果概要（理科）

正答率が高かった問題

海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を考察する。

複数の実験結果を分析して
妥当な考えをつくりだせる。

食塩を水に溶かしたときの全体の重さは変わらないことを求める。

既習の内容を生かし、根拠をもって
自分の考えを導くことができる。

正答率

96.4%

（都+6.2P）

正答率

61.8%

（都+15.9P）

3 調査結果概要（理科）

正答率が低かった問題

流れる水の働きによる土地の浸食について、自分の考えと異なる予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子。



正答率 50.9%
(都 - 7.9P)

一度に流す水の量と棒の様子
の関係から、大雨が降って流れる水の量が増えた時の地面の削られ方。



正答率 9.1%
(都 - 12.9P)

既習の内容や生活経験を基に根拠ある予想や仮説を立て、構想した実験方法が検証可能かどうか、検討し、結果までの見通しをもつことが課題。

指導改善のポイント

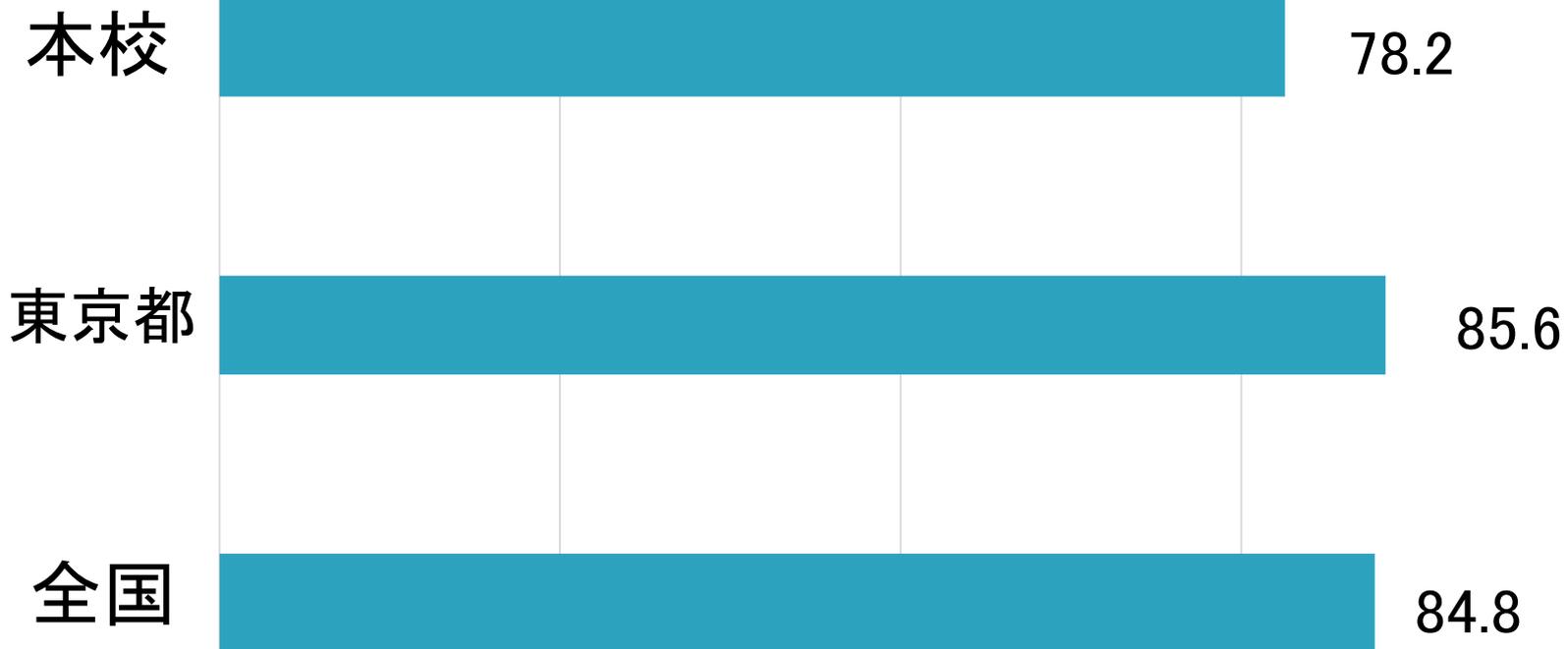
観察や実験の結果を基に、「事実（条件と結果）」と「解釈（結果から考えられること）」を整理し、説明する場面を設定する。

基本的な知識・理解を身に付けさせる。

4 児童質問紙の結果

朝食を毎日食べていますか

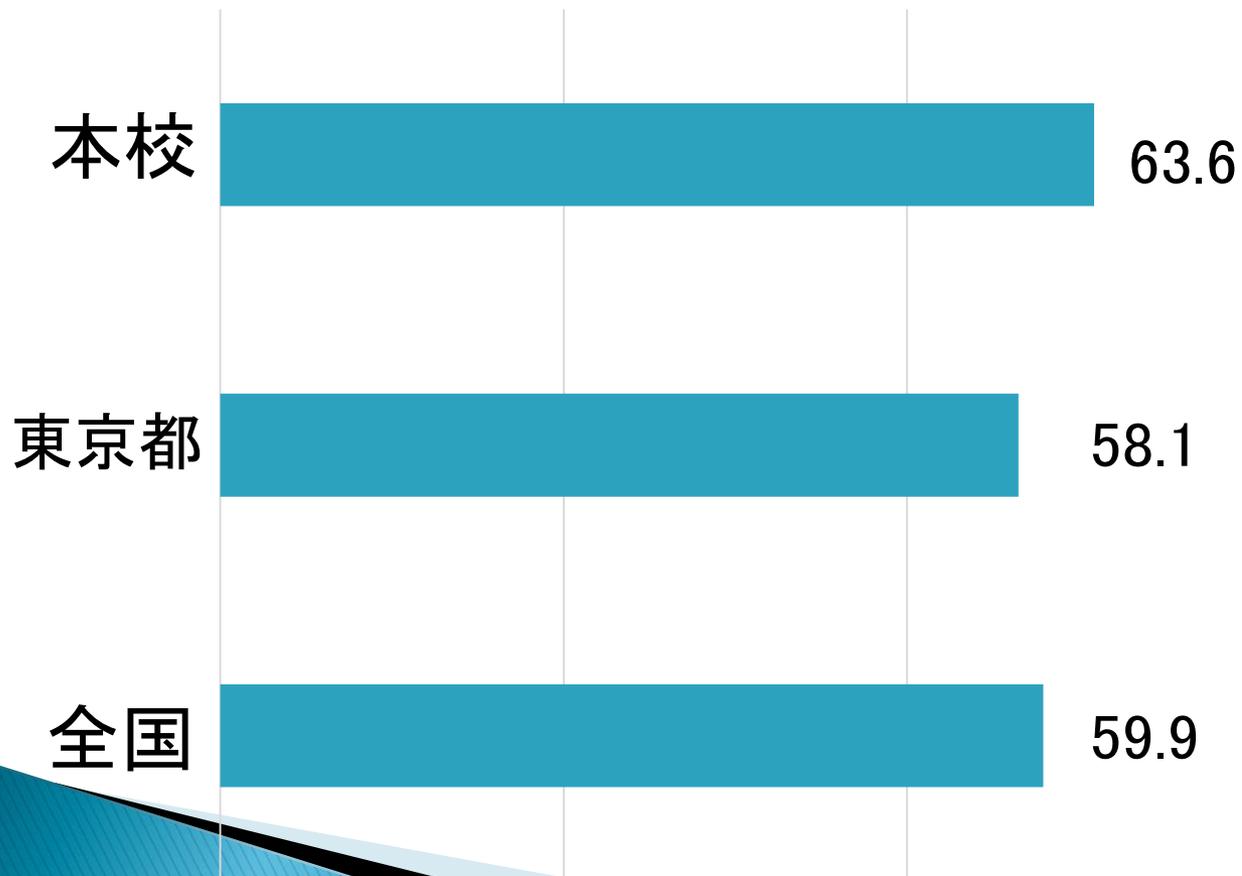
0.0 25.0 50.0 75.0 100.0 %



4 児童質問紙の結果

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

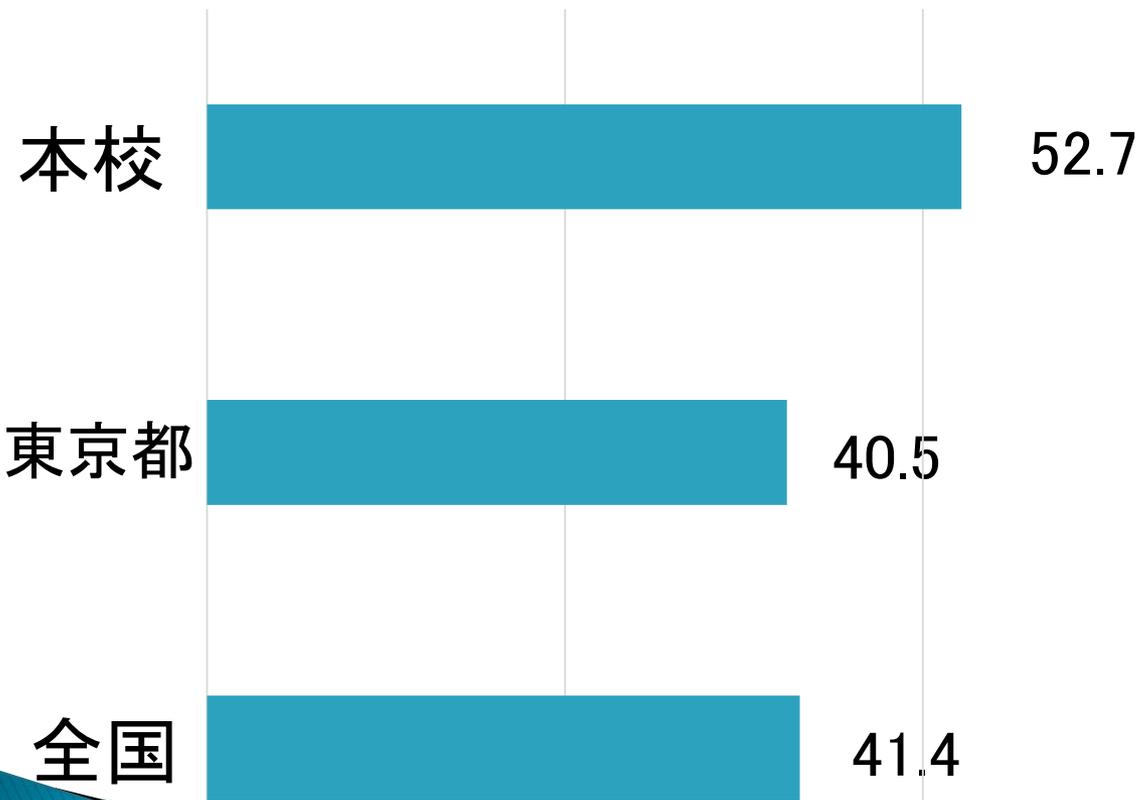
0.0 25.0 50.0 75.0 100.0 %



4 児童質問紙の結果

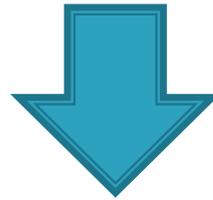
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

0.0 25.0 50.0 75.0 100.0 %



本校の実態と課題

生活リズムの確立が課題である。
今後も継続した取組が必要。

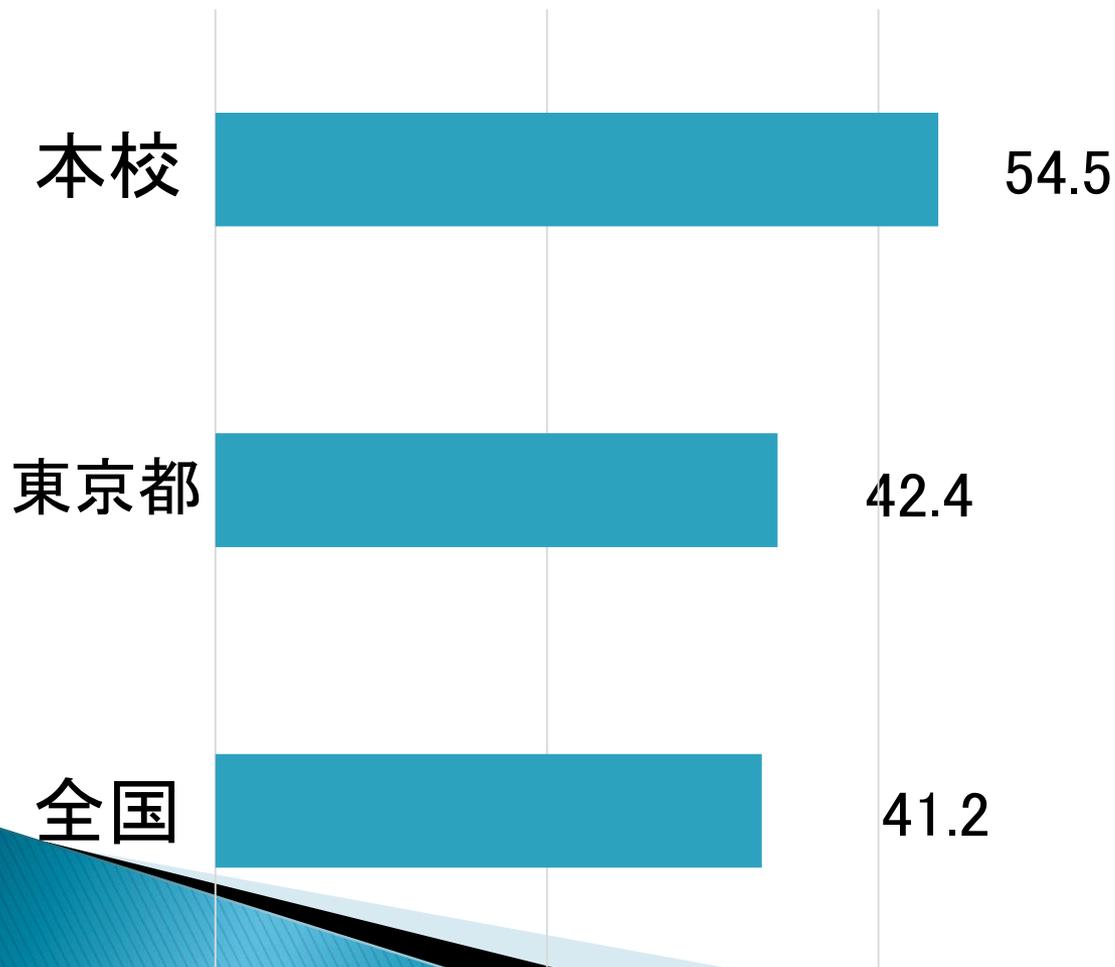


生活リズムの向上は
学力向上に影響がある

4 児童質問紙の結果

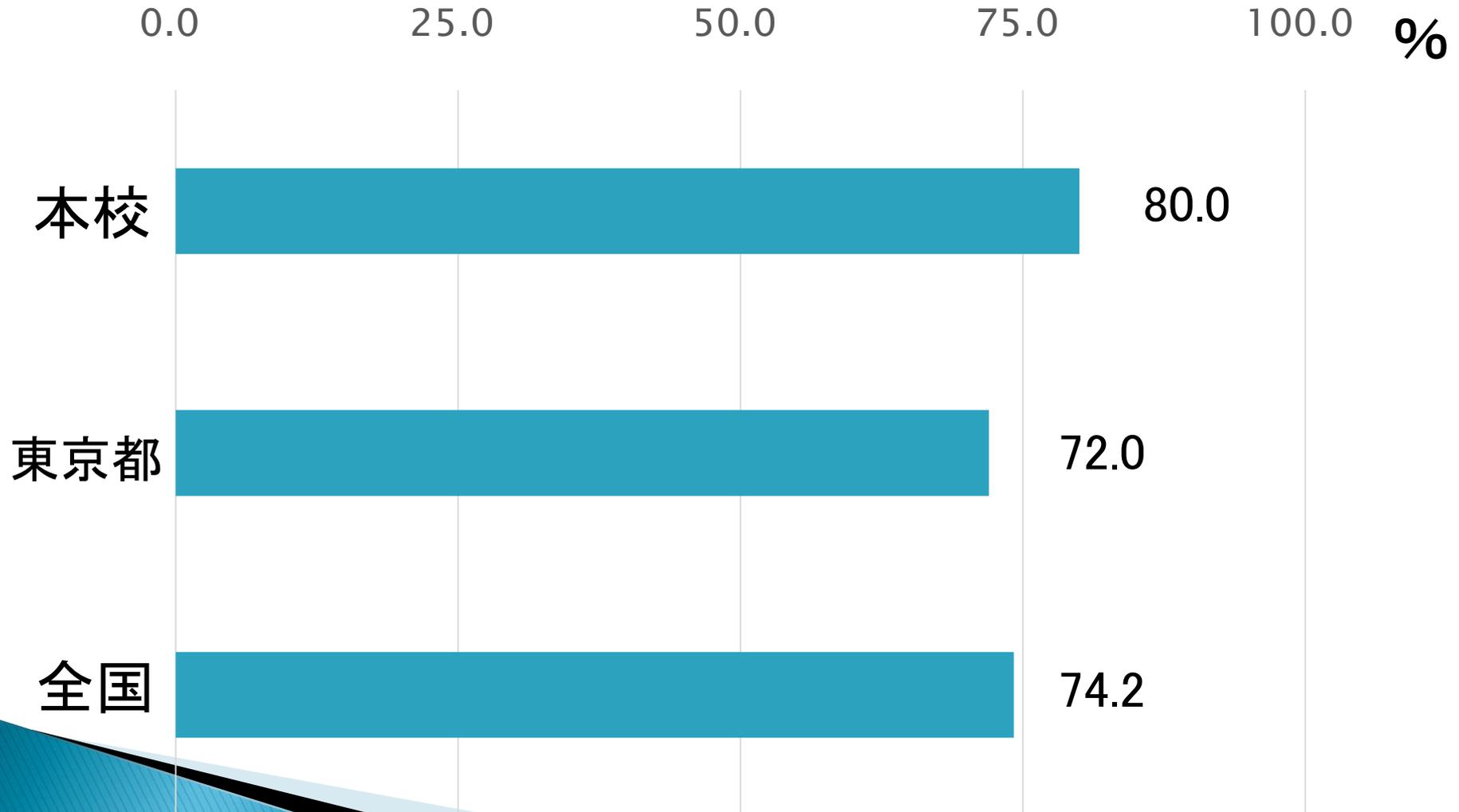
自分にはよいところがあると思いますか

0.0 25.0 50.0 75.0 100.0 %



4 児童質問紙の結果

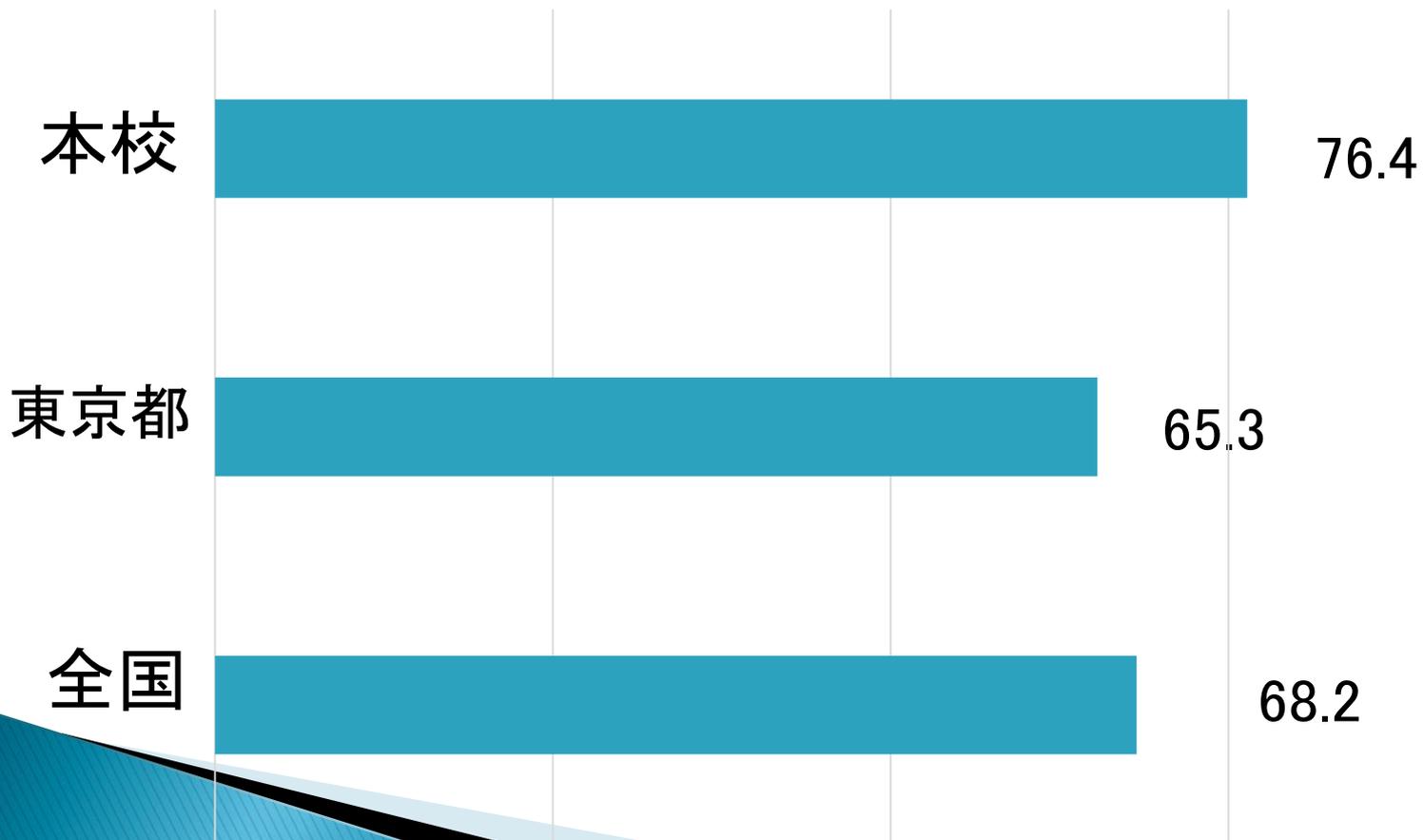
人の役に立つ人間になりたいですか



4 児童質問紙の結果

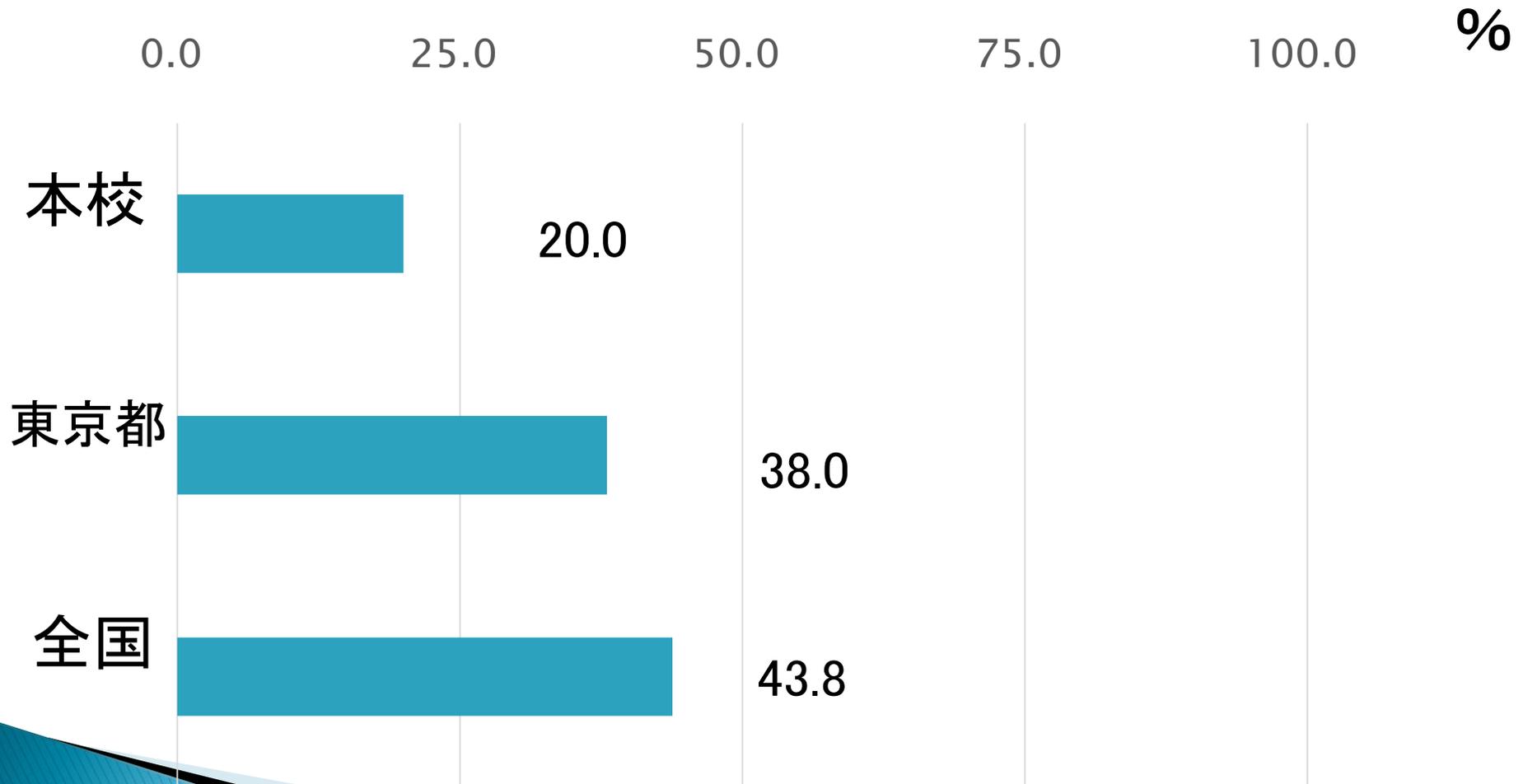
将来に夢や目標をもっていますか

0.0 25.0 50.0 75.0 100.0 %



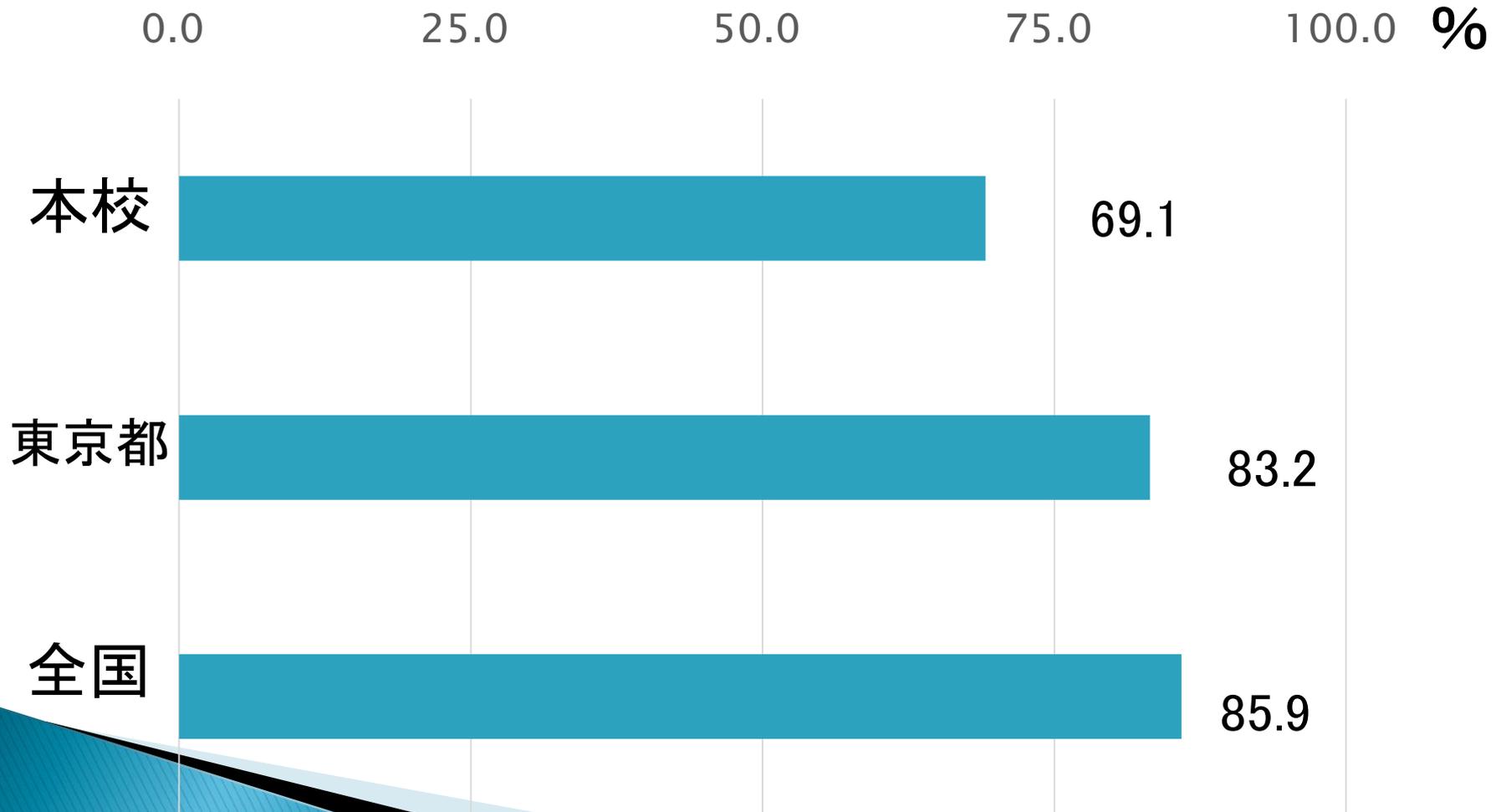
4 児童質問紙の結果

学校の決まりを守っていますか



4 児童質問紙の結果

いじめは、どんなことがあっても許されな
いと思いますか



本校の実態と課題

自分に対する自信や夢をもたせること。決まりを守り、いじめを許さない心を育む。

自己肯定感を高めること
規範意識を醸成すること

4 児童質問紙の結果

1日当たりどのくらいの時間勉強しますか

